

プロメッション：環境に優しい埋葬の未来

プロメッションは遺体を**液体窒素**で処理し、環境に優しく土に還す革新的な埋葬方法です。スウェーデン発のこの最先端エコ葬送技術は、従来の土葬・火葬の環境問題に対する新たな解決策「**冷葬**」として注目されています。

大華

作成者：大石 華法





プロメーションの誕生背景

有機栽培への情熱

生物学者スーザン・ウィーグ-メサクさんの研究から始まりました。



自然循環の実現

人間の遺体を自然の一部として還す方法を追求しました。



革新的なアイデア

2001年に環境負荷の少ない埋葬方法として考案されました。



科学的プロセスの解説



初期冷凍

遺体を**マイナス18度**で冷凍保存します。



超低温処理

液体窒素で**マイナス196度**まで凍結させます。



振動処理

振動を与え、遺体を微細な粉末に変換します。



金属除去

歯の詰め物などの金属部分を取り除きます。

Cremation

VS

Promession

Traditional cremation
traditional furnen

Liquid nitrien emistttes
carbon emission



Traditional cremation

Liquid nitrogen cayon

Promession emicttes less carbom

環境への貢献

23L

0kg

燃料削減量

水銀排出量

1遺体あたりの年間燃料消費削減量

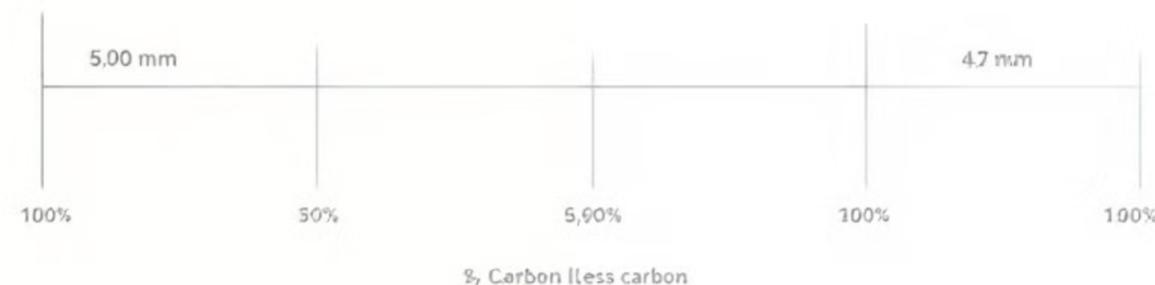
有害物質の環境放出ゼロを実現

70%

体積減少率

処理により遺体の体積が大幅に減少

プロメッションは従来の土葬・火葬と比較して環境負荷が圧倒的に低く、温室効果ガスの排出を抑制します。



葬送プロセスの詳細

生分解性棺の使用

遺体は環境に優しい木製の棺に安置されます。

重量軽減処理

フリーズドライ処理により体重が約30%に減少します。

浅層埋葬

深さ30-50センチメートルの表土に埋葬します。

自然還元

約1年で完全に腐植土へと変化します。



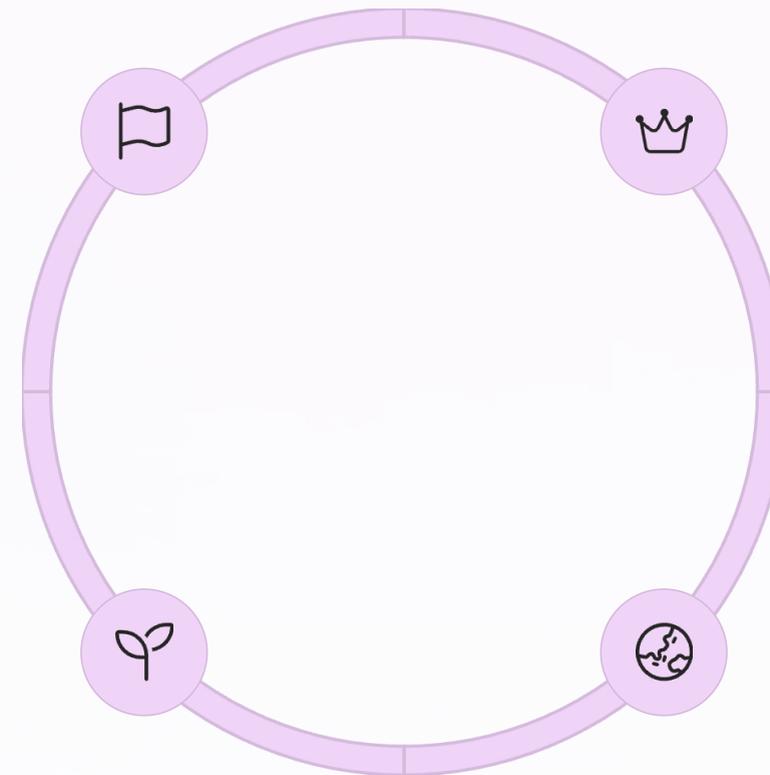
世界での現状

スウェーデン

発祥国として技術開発と普及を主導しています。

世界的関心

多くの国で導入検討が進んでいます。



イギリス

環境意識の高まりから早期に合法化されました。

韓国

アジアで初めて導入を認めた国です。

2019年時点で**3か国**で正式に合法化されており、日本でも将来的な導入可能性が検討されています。

未来への展望

技術の進化

より効率的で低コストなプロセスの開発が期待されています。環境への配慮と遺族の心情に応える技術改良が続いています。

普及への課題

文化的・宗教的受容と法的整備が必要です。従来の葬送との共存も重要な検討課題となっています。

新たな関係性の構築

人間と自然、生と死の新しい関係性を社会に提案しています。環境意識の高まりとともに受け入れられつつあります。